

要介護者の介護に関わる人を対象とした 「介護施設に関する意識調査」

<目次>

1. 介護が必要になったきっかけと認知症
2. 在宅介護の内容と負担に感じているケア
3. 介護情報の入手経路
4. 介護施設への入居検討割合
5. 介護施設への入居を検討したきっかけ
6. 介護施設に入居する前の不安とその後
7. 介護施設への入居後の満足度
8. 介護施設への距離と訪問頻度
9. 介護施設に対するイメージ
10. 将来の入居意向

<調査概要>

【調査地域】全国

【調査対象者】

- ・年齢：30～69歳（性別問わず）
- ・介護期間：6か月以上の介護経験がある人
- ・要介護度：要介護者の介護度が要支援1～要介護5であること
- ・介護の関与度：要介護者の介護に最も深くかかわっている人

【サンプル数】

- ①在宅介護者（施設に入居させた経験なし）：200サンプル
 - ②要介護者を介護施設に入居させている人：200サンプル
- ※過去に経験したことのある人も含む

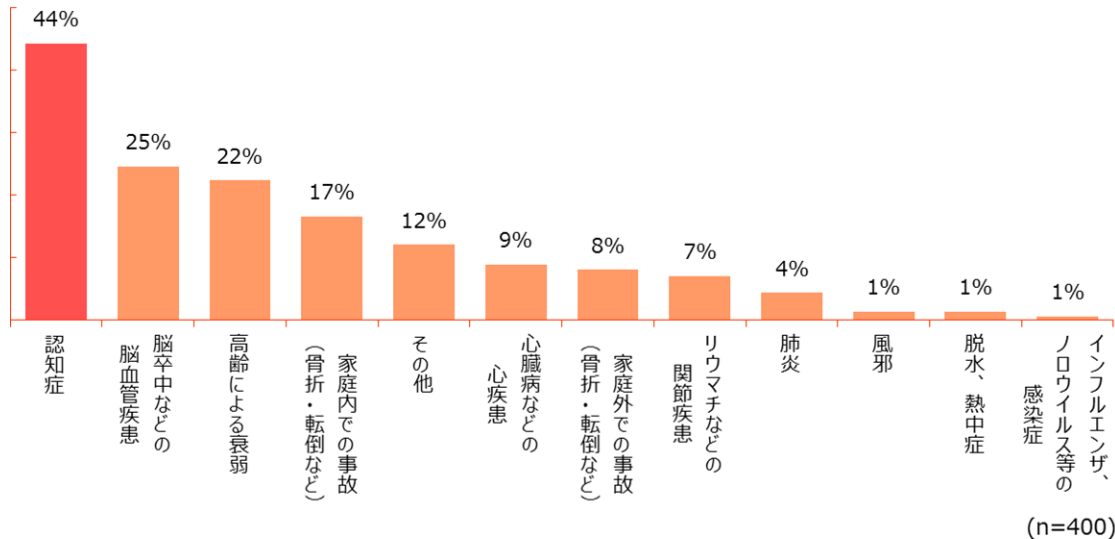
【調査方法】インターネット調査

【調査期間】2016年1月27日（水）～2016年1月31日（日）

1. 介護が必要になったきっかけと認知症

在宅介護、施設入居を含め介護経験のある人に、介護が必要となった原因を聞いたところ「認知症」が44%で、他の原因を大きく上回る。「脳卒中などの脳血管疾患」(25%)、「高齢による衰弱」(22%)、「家庭内での転倒・骨折などの事故」(17%)が続く。

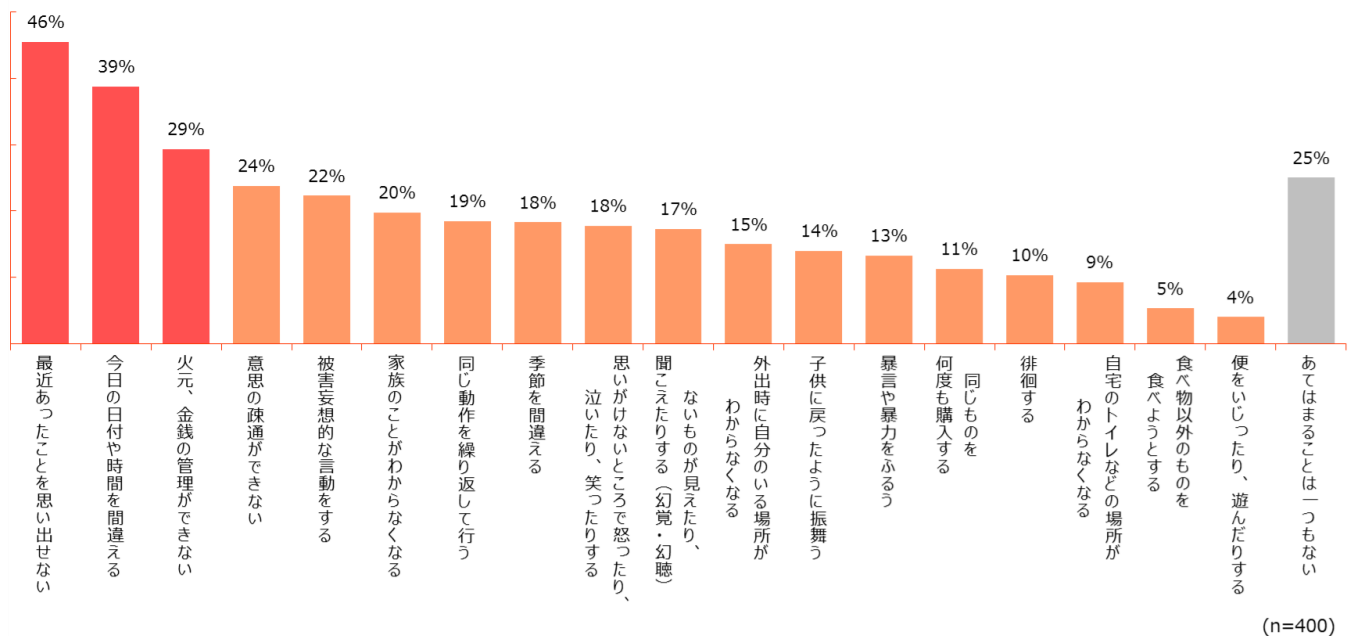
◆介護を受けているご家族の、介護が必要となった原因は何ですか？（複数回答）



介護を受けている人に見られる認知症の症状をみると、「最近あったことを思い出せない」(46%)、「今日の日付や時間を間違える」(39%)といった軽いものに続き、「火元、金銭の管理ができない」(29%)、「意思の疎通ができない」(24%)といった重い症状の回答も少なからずあった。

また認知症の症状が「あてはまることは一つもない」と回答したのは25%のみで、75%の介護者は介護をしている家族に何らかの認知症状がみられると回答している。

◆介護されているご家族に、以下の症状はみられますか？（複数回答）

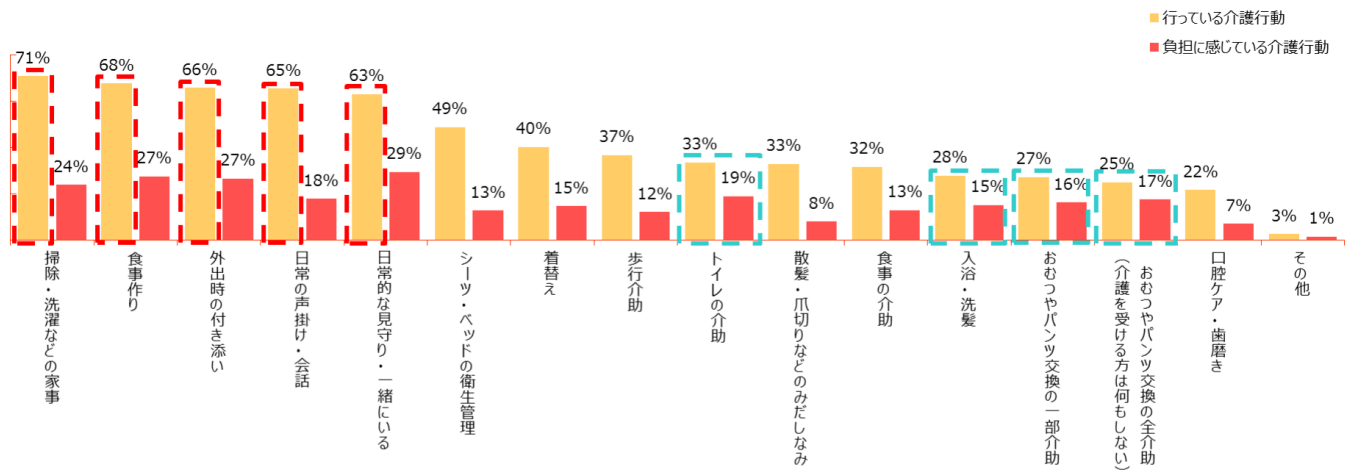


2. 在宅介護の内容と負担に感じているケア

在宅介護を行っている人に聞いたところ、ケア内容は、「掃除・洗濯などの家事」（71%）、「食事作り」（68%）、「外出時の付き添い」（66%）など身の回りのお世話が多い。「歩行介助」（37%）、「トイレの介助」（33%）、「食事の介助」（32%）、「入浴・散髪」（28%）などのケア内容に関しては3割ほどが行っている。

また行っているケア内容で、負担に感じている割合が多いのは、「おむつやパンツ交換の全介助」、「おむつやパンツ交換の一部介助」、「トイレの介助」、「入浴・洗髪」など。

- ◆どのような介護・介助をしていますか？（複数回答）【在宅介護経験者】
- ◆どの介護・介助を負担だと感じていますか？（複数回答）【在宅介護経験者】

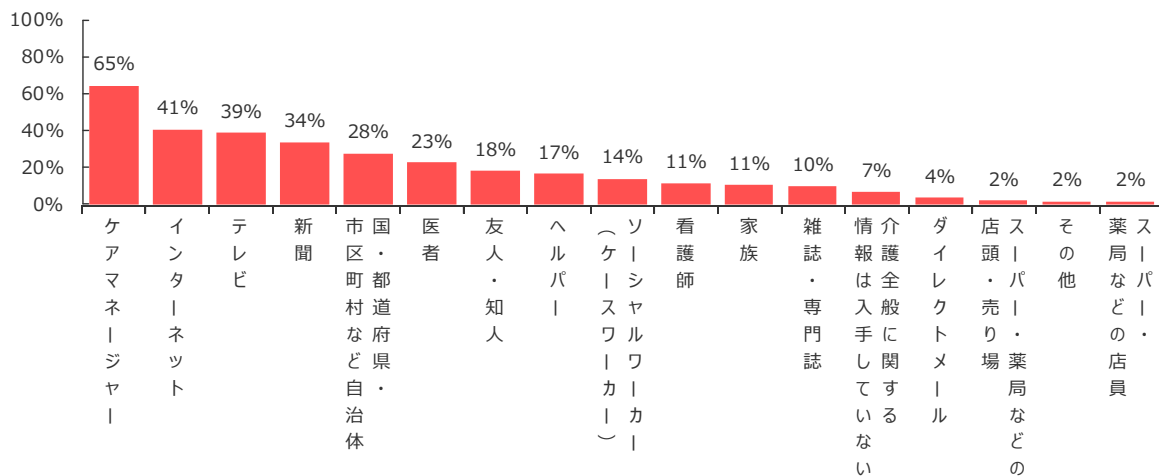


(n=317)

3. 介護情報の入手経路

在宅介護、施設入居を含め介護経験のある人に、介護に関する情報をどこから入手するかを聞いたところ、1位はケアマネジャー（65%）、2位はインターネット（41%）、3位はテレビ（39%）、4位は新聞（34%）の順で多かった。

- ◆介護全般に関する情報を、どこから入手しますか？（複数回答）



(n=400)

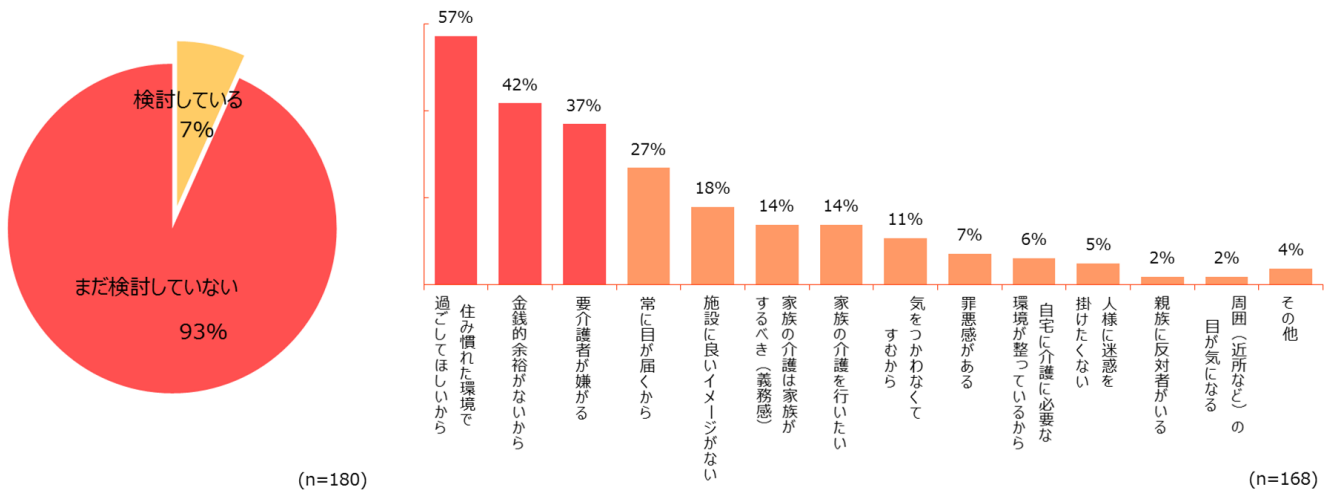
4. 介護施設への入居検討割合

現在在宅介護を行っている人のうち、まだ介護施設へ入居してもらう事を検討していない人は93%。

検討しない理由は、「住み慣れた環境で過ごしてほしい」(57%)、「金銭的余裕がない」(42%)、「要介護者が嫌がる」(37%)が多かった。「施設にいいイメージがない」(18%)、「家族の介護は家族がするべき」(14%)などの理由も一定層いるが、2割を切っている。

◆ 自宅で介護中のご家族に、介護施設へ入居してもらうことを検討していますか？（単一回答）【現在在宅介護中の人】

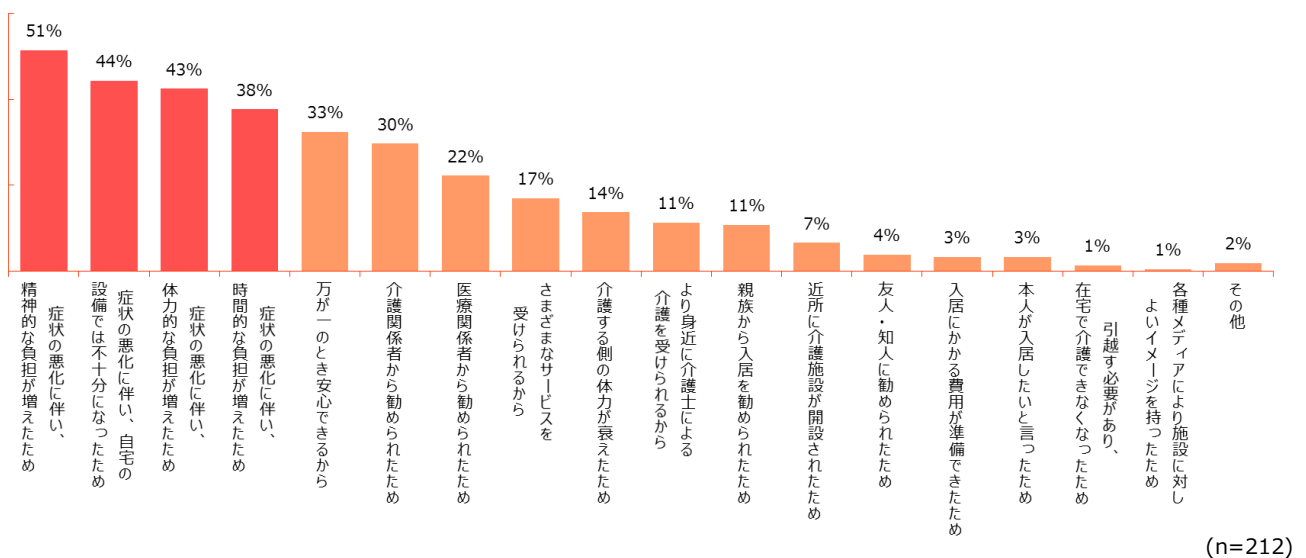
◆ 施設への入居を現在は考えていない理由は何ですか？（複数回答）【介護施設を検討していない人】



5. 介護施設への入居を検討したきっかけ

介護施設へ入居してもらう事を検討したきっかけは、「精神的な負担が増えた」(51%)、「自宅の設備では不十分になった」(44%)、「体力的な負担が増えた」(43%)、「時間的な負担が増えた」(38%)など症状の悪化に伴うものが多い。

◆ 施設への入居を検討したきっかけは何ですか？（複数回答）【施設入居検討者】



家族が介護施設へ入居した人に、入居してもらう事を伝える際にどのような工夫をしたかを聞いたところ、「ケアマネジャーの協力を得た」、「ショートステイで慣れてもらった」、「本人に正直に状況を話した」、「症状が良くなれば帰ると説明した」の4パターンの回答が多かった。

◆施設へ入居してもらう事を伝える際、どのような工夫をしましたか？（自由回答）【施設入居者】

ケアマネジャーの協力を得た

- ◆介護を受けている親・ケアマネジャー・市職員並びに子で話し合い、介護を受けている本人にはケアマネジャーが説明した。（男性/60代）
- ◆ケアマネと相談し、紹介してもらい、見学にも積極的に赴いた。（男性/50代）
- ◆ケアマネジャーとのコミュニケーションを多くとった。（男性/40代）

ショートステイを活用した

- ◆入所希望の施設のショートステイサービスを利用しながら施設になれるようにした。（女性/50代）
- ◆事前に短期のお泊りしてもらい様子を見ていた（女性/50代）
- ◆短期間の施設利用から初めて慣らしていった。（女性/50代）

正直に話した

- ◆今の状況をしっかり伝えて家では暮らせない事を納得してもらった。（女性/50代）
- ◆話その時は通じていたので包み隠さず話しました。（男性/40代）
- ◆家庭では外出時の見守りができないため、安全安心のためと説得。（男性/60代）

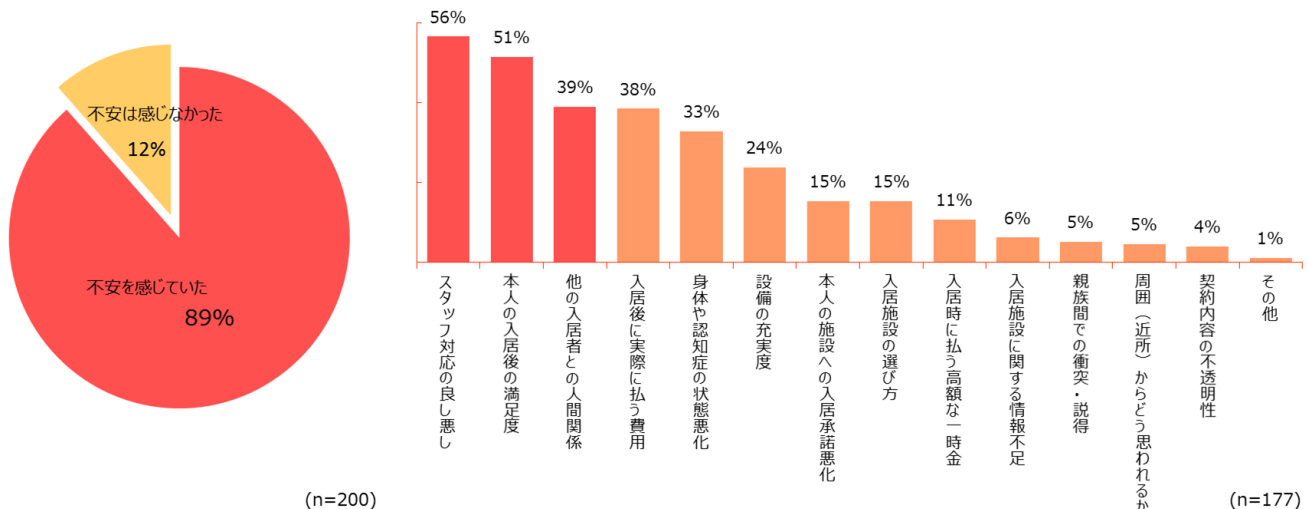
症状が良くなれば帰れると説明

- ◆「物忘れの病気で入院するのだということ。それが治ったら帰宅できること。以上2点を医師の見解として伝え、早期の回復を共に願う姿勢を見せた。（男性/40代）
- ◆予算の範囲内で検討できる施設を見学して回り、体験入居後そのまま契約した。退院後すぐには家には帰れないが、足がよくなり歩けるようになれば帰れるから、と伝えた。認知症なのでそれで納得してくれた。（女性/50代）

6. 介護施設に入居する前の不安とその後

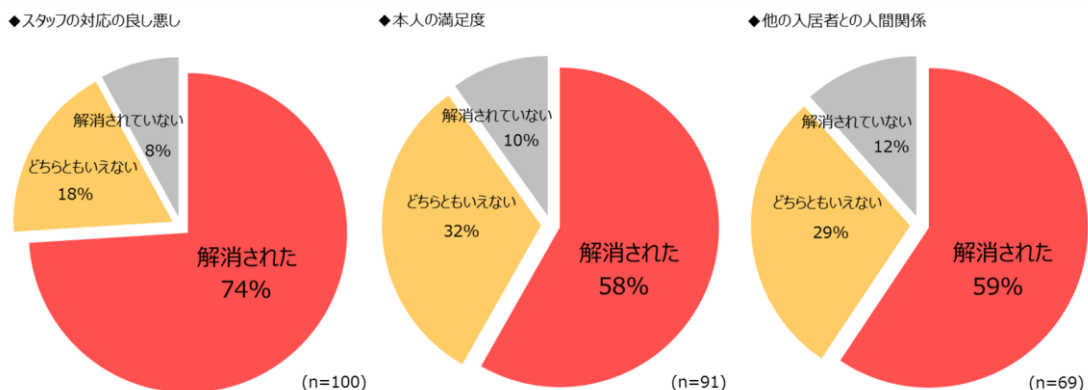
家族が施設へ入居した人は、介護施設に入居してもらう前に89%が不安を感じていた。不安を感じていた点は「スタッフ対応の良し悪し」（56%）、「本人の入居後の満足度」（51%）、「他の入居者との人間関係」（39%）が多かった。

◆介護施設に入居してもらう前、どのようなことを不安に感じていましたか？（複数回答）【施設入居者】



不安を感じていたと回答した人に、入居後、不安は解消したかを聞いたところ、「スタッフ対応」は74%、「本人の満足度」は58%、「他の入居者との人間関係」は59%が解消されたと回答した。一方、不安が解消されなかったと答えたのは、それぞれ8%、10%、12%だった。

◆施設入居前に感じていた不安は、入居後に解消されましたか？（単一回答）【施設入居者】



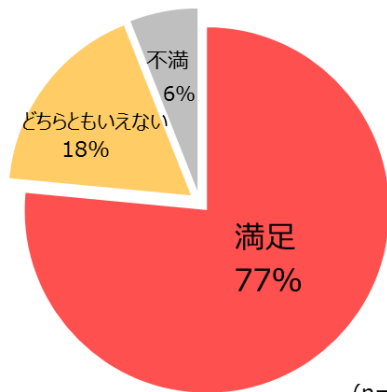
7. 介護施設への入居後の満足度

入居した人の家族は、77%が介護施設に満足していると回答。満足していないと答えたのは6%。
 入居した本人が介護施設に満足していると思うと回答した介護者は53%。満足していないと思うと回答したのは7%。

◆あなたは、入居してもらった施設に対して満足していますか？（単一回答）【施設入居者】

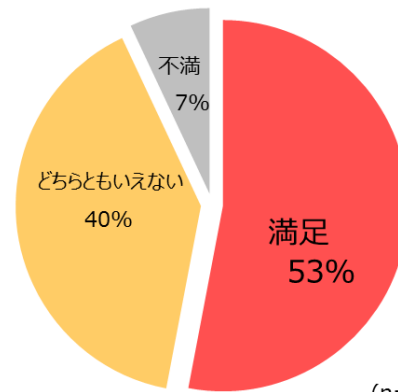
◆介護を受けているご家族は、施設に対して満足していると思いますか？（単一回答）【施設入居者】

◆介護者（家族）



(n=200)

◆要介護者（施設に入居した本人）

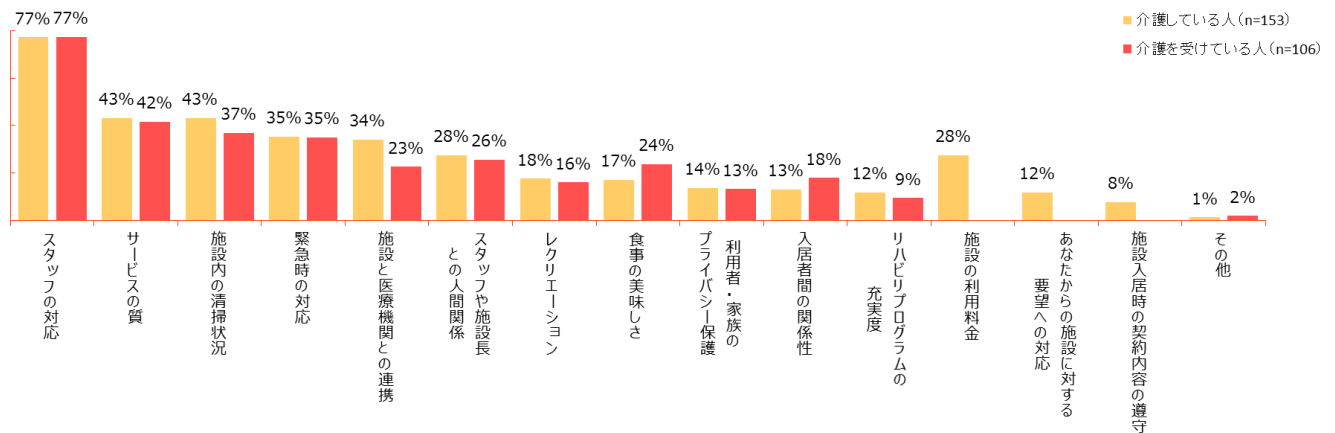


(n=200)

入居した施設について満足していることは「スタッフの対応」（77%）が他の理由を大きく上回っており、人を介したサービスや対応の充実が施設への満足度につながるという。

◆入居施設のどのようなことに満足していますか？（複数回答）【満足している人】

◆介護を受けているご家族は、入居施設のどのようなことに満足していると思いますか？（複数回答）【満足している人】



また介護者の年齢が高いほど満足度があがる傾向がみられ、30-40代は65%、50代は77%、60代は88%が入居先に満足している。

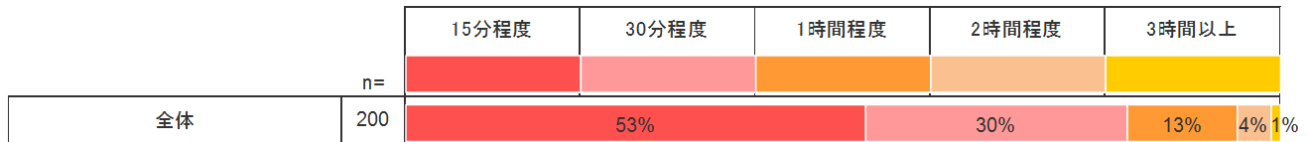
◆あなたは、入居してもらった施設に対して満足していますか？（単一回答）【施設入居者】

		n=	非常に満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	非常に不満
全体		200	28%	49%	18%	4%	3%
年代別 〈介護者〉	30-40代	54	26%	39%	22%	9%	4%
	50代	91	24%	53%	21%	1%	1%
	60代	55	35%	53%	7%	2%	4%

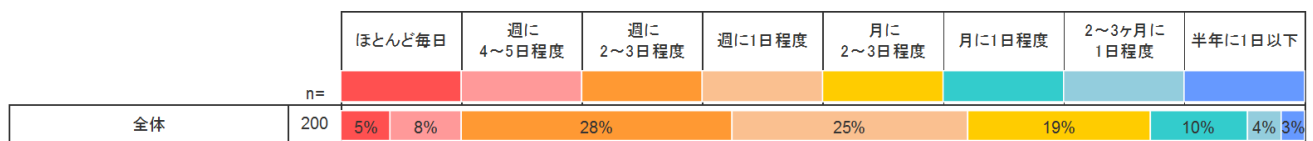
8. 介護施設への距離と訪問頻度

入居した介護施設までの所要時間は、53%が15分程度、30%が30分程度と大半が介護者の家から近いところ。介護施設への訪問頻度は「週に2～3日程度」が28%、週に1日程度が25%、月に2～3日程度が19%で、交通手段は自家用車が70%であった。

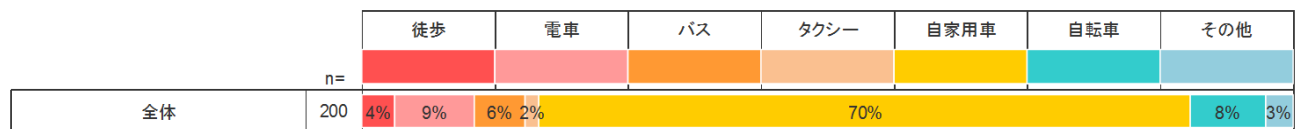
◆ご自宅から入居施設までの所要時間はどの程度ですか？（単一回答）【施設入居者】



◆入居施設への訪問頻度はどの程度ですか？（単一回答）【施設入居者】



◆入居施設への交通手段は何ですか？（単一回答）【施設入居者】

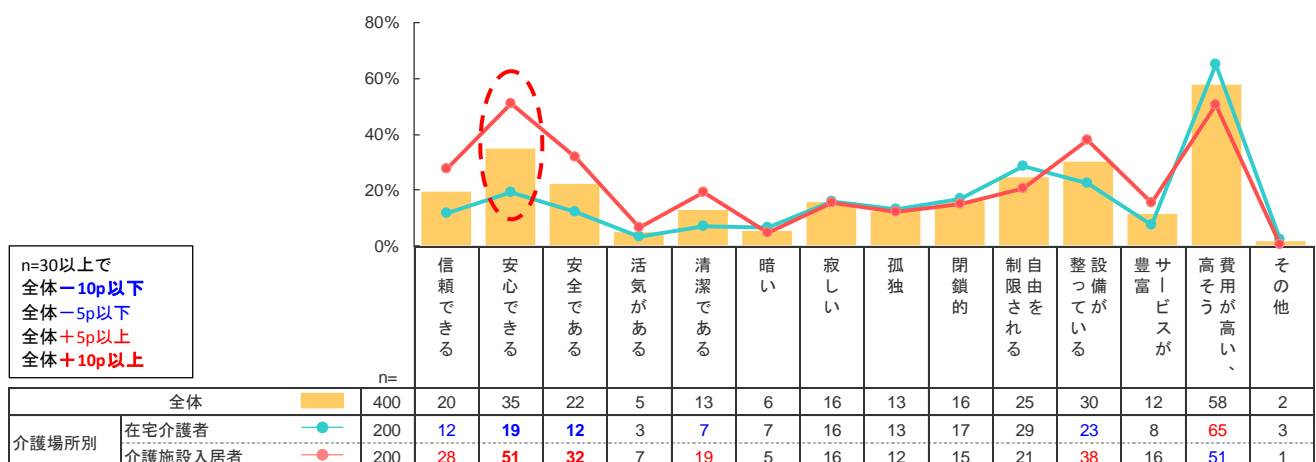


9. 介護施設に対するイメージ

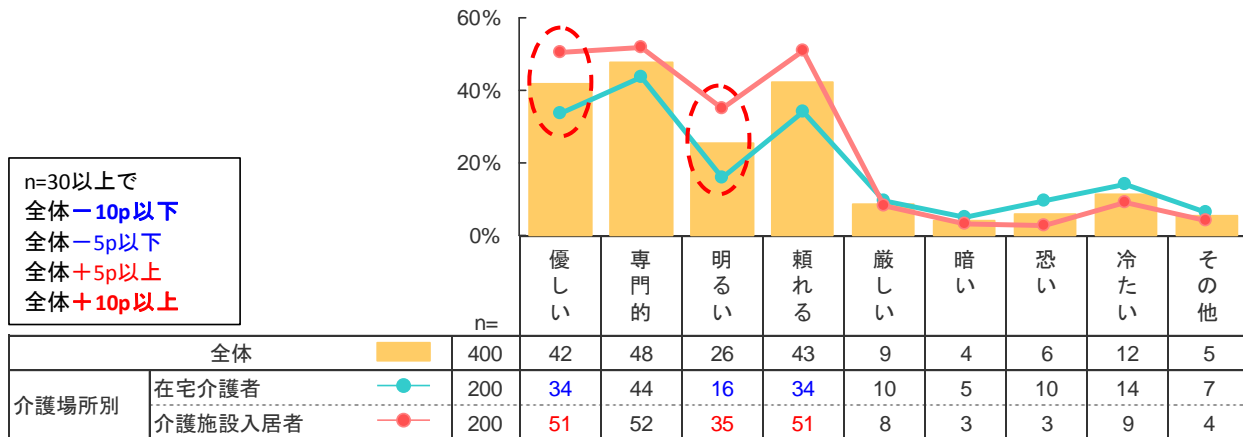
介護施設に対するイメージを聞いたところ、「安心できる」と回答したのは、在宅介護者は19%なのに対し、入居を経験した介護者は51%だった。

また介護職員に対するイメージも、「優しい」と答えた在宅介護者は34%だったのに対し、介護施設経験者は51%。介護施設を経験した介護者の方が施設に好印象を持つ傾向が見られた。

◆「介護施設」と聞いて、どのようなイメージをお持ちですか？（複数回答）



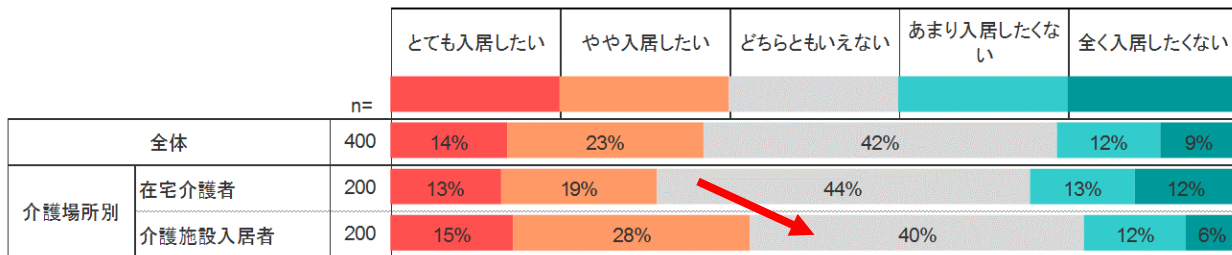
◆「介護施設」で働くスタッフに対して、どのようなイメージをお持ちですか？（複数回答）



10. 将来の入居意向

介護者自身に、自分が介護される立場になったときに施設に入りたいかを聞いたところ、在宅介護者は32%が、施設経験者は43%が入居したいと答えており、施設を知っている人の方が、入居意向が高い傾向にある。

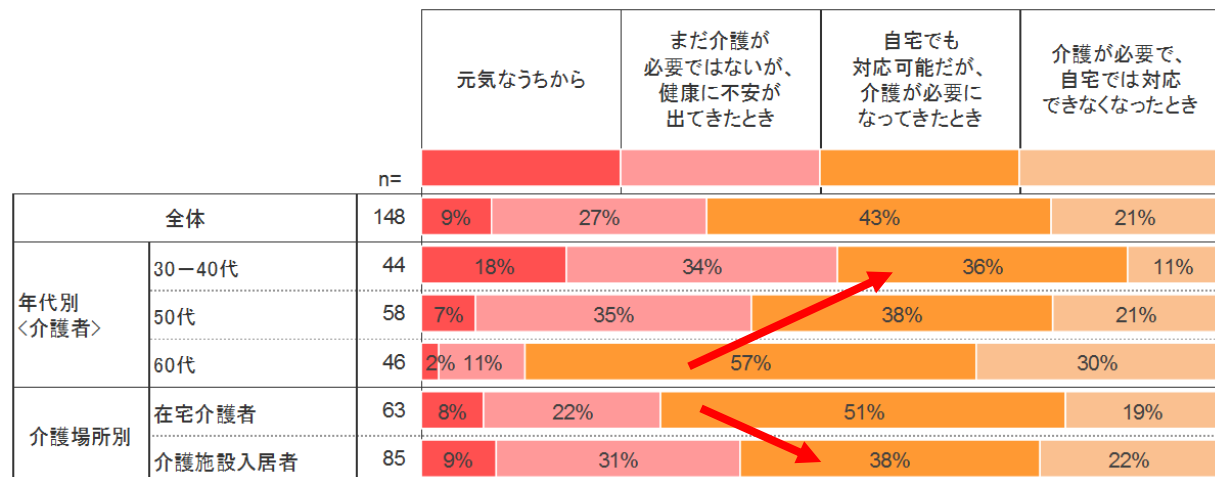
◆あなたが介護される立場になった場合、施設に入居したいと思いますか？（単一回答）



将来的に自身が介護施設へ入居したいと答えた人は、9%が「元気なうちから」、27%が「まだ介護が必要ではないが、健康に不安が出てきたとき」、43%が「自宅でも対応可能だが、介護が必要になったとき」に入居したいと回答した。

年代が若いほど早めのタイミングでの入居希望が多い傾向にあり、介護が必要でない段階で入りたいと答えたのは、60代で13%だったのに対し、30-40代では52%だった。また、家族に介護施設へ入居してもらった人の方が、早めのタイミングでの入居を希望している。

◆どのようなタイミングで施設に入居したいと思いますか。（単一回答）【将来施設入居希望者】



<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社Lifull Senior メディアプロデュースグループ 広報担当
TEL : 03-5783-3678 FAX : 03-6894-3720
E-MAIL : kaigo-in@next-group.jp

■株式会社 Lifull Seniorについて

株式会社 Lifull Senior (ライフ ル シニア)
代表取締役 : 泉 雅人
資本金 : 52百万円
事業内容 : 日本最大級の老人ホーム・介護施設の検索サイト「HOME'S介護」の運営
サービスURL : <http://kaigo.homes.co.jp/>

■「Lifull (ライフ ル)」について

「Lifull」は、暮らし全般に関わるネクストの新たなサービスブランドとして、2014年より展開を開始しました。これまでに国内、海外合わせて12社（2016年1月現在）を「Lifull」ブランドで設立しています。

「Lifull」は、「Life（暮らし・人生）」と「Full（満たす）」を掛け合わせた言葉で、すべての人々の暮らしや人生を満たすサービスを届け続けたい、という想いをこめています。「Lifull」が展開するサービスによって、求めているものが見つかる、決断に必要な情報が揃う等、出会いと発見の場を提供し、世界の人々の自分らしい生き方をサポートしていきます。